

体験交流館ニュース

挑戦してみよう 韓国語教室

文字の発音から日常会話まで、韓国語の基礎を学びます。近年、福島県には多くの韓国人観光客が訪れています。本町にも韓国からのお客さんが増え、韓国語にふれる機会も多くなってくるかもしれません。お友だちを誘って参加してみませんか？

○日 時：4月22日、5月6日・20日、6月3日・17日、7月1日・15日、9月2日・16日、10月7日・21日、11月4日
※木曜日／全12回コース
午後7時～8時30分

○会 場：猪苗代町体験交流館

○受講料：無料

○申し込み：4月1日(木)から15日(木)までの間に体験交流館へ電話で申し込んでください。



てくてく歩きま専科～季節を感じて健康ウォーク～

自然の中を季節を感じながら歩いて心身の健康を維持しましょう。春から秋にかけて、月1回程度みんなで歩く「てくてく歩きま専科」を今年も開催します。AとBの2班で実施しますので、ぜひご参加ください。

○日 程

A班(水曜コース) 4月14日、5月19日、6月23日、8月25日、9月15日、10月13日 午前9時～正午

B班(土曜コース) 4月17日、5月22日、6月26日、8月28日、9月18日、10月16日 午前9時～正午

○対 象：1時間ほど歩ける人(各班 定員30人)

○参加費：各回200円 ※歩きやすい服装と靴、帽子を着用の上、飲み物やタオルは各自準備してください。

○申し込み：4月1日(木)から15日(木)までの間に体験交流館へ電話で申し込んでください。

ふるさと歴史館ニュース

図書コーナーに新刊続々

- ・追想五断章(米澤穂信)
- ・午前零時のサンドリヨン(相沢沙呼)
- ・誰かと暮らすということ(伊藤たかみ)
- ・ハッピーリタイアメント(浅田次郎)
- ・RDG レッド データ ガール(荻原規子)
- ・カッコウの卵は誰のもの(東野圭吾)
- ・クビキリサイクル(西尾維新)

- ・善人はなぜまわりの人を不幸にするのか(曾野綾子)
- ・君たちに明日はない(垣根涼介)
- ・恋文の技術(森見登美彦)
- ・下世話の作法(ビートたけし)
- ・告白の恋愛論(渡部淳一)
- ・私の履歴書(平岩弓枝)
- ・島田秀平の幸せになれる開運!(島田秀平)
- ・会津キリシタン研究2(小堀千明)

ほか、たくさんの中刊図書を入荷しました。



第38回野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会結果

第38回野口英世博士顕彰記念町内小学校スキー大会は2月3日(水)、アルペン競技は猪苗代スキー場西ゲレンデ、クロスカントリー競技は昭和の森コースを会場に開催されました。個人の結果は下記のとおりです。

■女子大回転(5年)

1位：遠藤 咲良(長瀬) 2位：渡部 楓(長瀬) 3位：神 櫻花(長瀬)

■女子大回転(6年)

1位：渡部 真綺(猪苗代) 2位：小林 瑞季(猪苗代) 3位：小松山 綾(緑)

■男子大回転(5年)

1位：岡野 大我(猪苗代) 2位：五十嵐 隼人(長瀬) 3位：大堀 佑騎(猪苗代)

■男子大回転(6年)

1位：渡部 穂高(長瀬) 2位：半沢 勝人(長瀬) 3位：渡部 大輝(千里)

■女子クロスカントリー(5年)

1位：笹生 真由(吾妻) 2位：増子 風鈴(吾妻) 3位：鈴木 麻真(吾妻)

■女子クロスカントリー(6年)

1位：武田 里緒菜(千里) 2位：遠藤 南(千里) 3位：古川 真由(緑)

■男子クロスカントリー(5年)

1位：吉田 廉(千里) 2位：古川 裕隆(吾妻) 3位：佐藤 涼哉(千里)

■男子クロスカントリー(6年)

1位：神 汰輝(長瀬) 2位：鈴木 蓮(緑) 3位：田中 陽平(千里)



雪の中のレースとなりました



猪苗代町体験交流協会からのお知らせ

■ホタルの生態を観察しよう

体験交流館のロビーに、ホタルの生態を観察できる水槽を設置しました。ホタルがすめる環境を小さな水槽の中で再現。メダカ、カワニナやホタルの幼虫などが水槽の中で生息しています。

この季節、普段では触れることのできない小さな命の研究をしてみませんか？ライトもついていて、夜でも観察することができますので、ご家族でおいでください。



ケースの中で生態系が学べます

後援事業

■うたとピアノのコンサート

ブルーレイクハーモニーの合唱と渡部智恵子ピアノ教室の生徒によるピアノの演奏をお楽しみください。講師の演奏もあります。

皆さんのご来場をお待ちしています。

○日 時：3月27日(土) 午後2時開演

○会 場：町体験交流館 大研修室

開場 午後1時30分 ※入場無料

○主 催：ブルーレイクハーモニー／渡部智恵子ピアノ教室

○後 援：猪苗代町体験交流協会

■映画上映会『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』

豪雪・貧困・病気という問題を抱えた岩手の雪深い山村で、誰もが願う「健やかに生まれ、育ち、老いる」ことを実現させようと取り組んだ村の人々の姿を描いた作品です。

○主 演：長谷川 初範・とよた真帆

○主 催：『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』上映実行委員会

○後 援：猪苗代町体験交流協会

○開催日時：22年4月10日(土) 1回目14:00 2回目18:30

○会 場：町体験交流館 大研修室

○鑑賞券：一般前売 1,000円(当日1,500円)

学生 800円

映画公式サイト：http://www.cinema-indies.co.jp/aozora2/index.php

○問い合わせ：『いのちの山河～日本の青空Ⅱ』上映実行委員会 五十嵐ミエ子 携帯 080(5224)4172

※鑑賞券は体験交流館でもお買い求めいただけます。



猪苗代歴史探訪

～古代の磐梯山～

古代の磐梯山は、中央の人々があこがれる陸奥国の山として、「会津嶺」「会津山」「会津の山」と会津地名を冠し歌枕に用いられた。我が国最古の歌集『万葉集』の東歌にも登場し、「会津嶺の国をさ遠み逢はなはば 偲びにせもと紐結ばさね」と、会津の国を遠く離れ旅立つ夫婦の心情が歌われている。

東北地方には岩手山や岩木山など秀麗な山に「いわ」の字が冠され、磐梯山も古くは「いわはしやま」と呼ばれた。その山容を天に架けた梯子のように高いと形容した名である。このように古来より信仰対象であった山々は、神道や仏教などの流布と律令支配の地方波及に伴い、在地の古き神々として国家神に隸属し、明神へと神格化されていった。

磐梯山の神を祀った磐梯神社も『文徳実録』八五五(斉衡二)年の記事に「加陸奥国石椅神從四位下」、『延喜式』神祇に「耶磨郡一座石椅神社」とあり、古代には既に格式を整えて祀られていた。

磐梯山は、古代には会津に豊かな作物の恵みを与えてくれる神の山であり、今も秀麗な山姿が観光資源となり観光客を呼んでくれる宝の山である(兼田)。



古くは会津嶺と呼ばれた磐梯山